

農地場整備事業 津久毛地区

ばれいしょの播種が行われました



令和6年4月8日(月)に津久毛地区（栗原市金成）で高収益作物であるばれいしょ（じゃがいも）の播種が行われました。

津久毛地区では、地区の農家の方々が新たな畑作物の栽培に取り組んでいます。昨年度、暗渠排水を施工し、排水対策を行ったほ場では、ばれいしょの他にたまねぎの栽培も行っています。

今回播種を行ったばれいしょは、7月下旬頃に収穫され、皆さんが好きなポテトチップスになる予定です。

< 播種の様子 >



RTK活用による自動操舵

RTK活用により自動操舵（後付け）を行うことで、等間隔かつ真っ直ぐな畝立て同時播種が容易に行われていました。



ばれいしょ播種用機械

土寄せ・播種・畝立てを同時に行うことができ、効率的に作業を進められていました。



作業状況

機械による作業がほとんどですが、2つ以上の種芋が1つの仕切りに入った場合は、手作業により取り除く作業が行われていました。



のぼり旗設置

今回播種を行ったほ場に設置してありますので、お見かけの際は、ぜひご覧ください。

暗渠排水とは・・・

地下排水の1つの手法で、地中に暗渠管等を埋設し、地下水位の低下などを目的とした排水。

（土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 計画「暗渠排水」より）

ばれいしょ播種ほ場

